

だいいっしょう  
第一章

しょうかい  
ゆきの紹介

むかしむかし、あるちいむらにゆきというむすめ娘がおばあさんとふたりく暮らしていました。ゆきは、とてもうつく美しい子でしたが、ふたりは大変まいへんまずせいかつ生活をしていました。むらぜんたいまずわかものすがたもあまりみられませんでした。そして、ゆきとけっこん結婚したいという者も、だれひとりあらわ誰一人として現れたことはありませんでした。

「ゆきや、お前のまえしあわさが、みやこいほう都に行つた方がいいよ」とまいにち毎日おばあさんは言いました。

「おばあさまをひとここにのこ残してみやこで都へ出かけることはできません」とそのたびたびゆきはこた答えました。

あるひ、おばあさんはな亡くなりました。おばあさんをお墓はかほうむに葬つてから、ゆきはなけなしのかざいあつみやこむしゅつぱつの家財を集め、都へ向けて出発しました。

[Yuki no Monogatari](http://www.TheJapanesePage.com) by Richard VanHouten  
<http://www.TheJapanesePage.com>